

あいあいつうしん

No. 475

2017 (平成29)

11.8

編集 京都ライトハウス
視覚支援 **あいあい教室**
TEL : 075-462-4462
FAX : 075-462-4464
aiai@kyoto-lighthouse.or.jp

よく晴れた秋の日の空はとても高く、気持ちのいい澄んだ青色。こんな日は、絶好のお散歩日和です。落ち葉の上を歩いたり、どんぐりや松ぼっくりを拾ったり。草むらには、バッタもいるかな…。秋は自然にいっぱい触れて、外遊びをうんと楽しみたい季節ですね！あいあいの子どもたちも、秋は公園にお散歩。お母さんお手製の“どんぐりポケット（牛乳パックで作った入れ物。キラキラ折り紙やビーズ・鈴などが付いています）”を持って出発！葉っぱ・石・砂…。拾って入れるのは、何でもOK。ジャーッとこぼしても大丈夫。楽しい時間です。

それでは秋の風に乗せて、今月のつうしんをお届けします。

11月の予定



- 9日（木） お母さん代表者会議（13：00～）
- 15日（水） ひよこクラブお遊び会（14：45～16：15）
- 16日（木） 眼科学習会（10：00～12：00／ライトハウス1階 和室）
- 28日（火） 洛陽保育園との交流（午前：楽只公園）
- 30日（木） 第2回三者連絡会（17：00～盲学校・アイリス教室・あいあい）

<実習生の受け入れ>

6日（月）～10日（金）／13日（月）～17日（金） 介護等体験 各1名

7日（火）～10日（金） チャレンジ体験 中学生1名

※ご理解の程、よろしく願いいたします。

ライトハウスの行事

1月25日（木）～28日（日）第43回視覚障害者福祉啓発事業

「あい・らぶ・ふえあ」大丸京都店6階 イベントホール

♪おたんじょうびおめでとう♪ ★11月うまれのおともだち★

N さん

1歳になります

9月から通園が始まって、いろんな“初めて”を経験している真っ最中のNくん。遠足では砂利の上に座って、お母さんとどんぐりをいっぱい拾ったね。どんぐりが箱からジャーッとこぼれたのがおもしろくて、何度もくり返していたNくん。これから一緒に、楽しいことにたくさん出会っていこうね。

K さん

4歳になります

「Kちゃんが（する）！」と言って、自分で“やりたい”気持ちが強くなってきたKちゃん。ズボンの脱ぎ履きも上手になってきて、とってもかっこいいね！公園では、ブランコやすべり台で遊んで「もう1回」。鉄棒のぶら下がりも得意です。これからも、Kちゃんの大好きな遊びを思いっきり楽しもうね。

S さん

5歳になります

先生やお友だちが大好きなSくん。一緒に遊ぶことが楽しみで、大好きなアンパンマン紙芝居はもちろん、プールやクッキングも期待いっぱい！どんな遊びもニコニコ楽しむ姿は、すっかり先輩お兄さんの雰囲気だね。穏やかな笑顔に、ほっこりとみんなが笑う…そのすてきな力を、めいっぱい輝かせていこうね！

M さん

6歳になります

何でもやってみたい気持ちが、ますます増えてきたMくん。できるようになりたいくて練習を重ねては、「見ててや！」と張りきる姿がかっこいいね。思いっきり楽しんで、「またしようね」と話す笑顔は達成感でいっぱい！その気持ちが自信につながっていくように、ひとつずつ全力で挑戦していこうね。

R さん

7歳になります

1年生になって、枝豆の観察や大学へお出かけなど、あいあい“初めて”の活動に取り組んだRちゃん。片栗粉スライムの感触遊びや光遊びも、グループの友だちと一緒に楽しんで、ニコニコの笑顔になっていたね。Rちゃんの“楽しい”気持ちや遊びを、これからもたくさん重ねていこうね♪

「眼科学習会」のご案内

「眼科では、お医者さんになかなか聞けない…」 「〇〇と言われたけれど、よくわからない…」 などなど。普段の診察では、うまく先生に聞けなかった経験はありませんか？ 『眼科学習会』では、講師の先生をお招きして、眼の構造や眼疾のことなど、ゆっくり聞けるチャンスです。個別相談にも対応してさせていただきます。

★日 時：11月16日（木） 10：00～12：00

★場 所：ライトハウス1階 和室

★講 師：^い井田 直子先生（児童福祉センター：眼科医）



ともだち紹介 ①

3さいだよ

A さんの巻

初めまして。4月からあいあい教室に通わせてもらっている、Aです。

生まれつきリンパ管奇形という病気で、顔の左側（目と頬）が腫れています。そのせいで左目が開かず、片眼での生活に不安を感じ、あいあいに通うことにしました。

顔面にリンパ管奇形が出来るのは珍しいらしく、東京の病院に通っています。3歳にして、手術を9回も経験している、頑張り屋さんです。

34週で生まれ2196gと小さく、脳内に出血も見られ色々心配しましたが、今はそんな過去が信じられないくらい、大きく元気に育っています。

天真爛漫な性格で、誰にでも（全然知らないおばさんにも）話しかけるような子です。Aが小さい時は、人に会うのも気が引けていた私に、勇気を与えてくれたのはこの子の人懐っこさと笑顔でした。

毎週のあいあいも、楽しんで通ってくれています。先生やお友だちの名前も少しずつ言えるようになって、階段の上り下りやジャンプも、上手に出来るようになってきました。これからも、大好きな先生やお友だちと色々な経験をして、強く優しく、笑顔を忘れず成長して行ってほしいです。

今後とも、親子共々よろしくお願ひいたします。

母

「Aがバルーンひっぱる！」といつも元気いっぱいAちゃん。すっかり通園にも慣れ、最近はお友だちを誘いにいきます。これからも、Aちゃん印の「できた！」のガッツポーズを重ねていこうね。

ともだち紹介 ②

5さいだよ

Y さんの巻

初めまして。今年の4月からお世話になっている、Yです。娘は乳児期からかかりつけの眼科に通っていたものの、特に異常が見当たらなかったのですが、物を見る時目を細めたりするしぐさや、至近距離で本を見たり、反応が鈍かったり、あきっぱかったりする動作を見て、何か違和感を感じ病院を変更して検査をしました。結果、乱視と強い近視という事がわかり、今は眼鏡を掛けて矯正しています。友人の紹介であいあい教室を知り、自宅から少し距離もあるので悩みましたが、目の使い方を親子で学んで生活に活かせたらなという思いで、通うことにしました。娘は特に眼鏡を掛けることに抵抗はなかったものの、まだまだ階段などの段差が慎重になったり、視野が狭いことで物を見る範囲が限定されがちになってしまったりします。こういった悩みもあいあいの先生に質問して、カバーしてもらえるので親としても不安が軽減され、更に娘が「あいあい、いつ行くの？」と聞いてくるくらい、楽しみにしていて、道中ではお決まりの「あいあい」を大合唱して通っています。先生方には、娘の少し頑固な性格も広い心で受け止めていただき、娘のペースに合わせて寄り添っていただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも、親子共々よろしく願いいたします。

母

少し前に、みんなと“お味噌汁づくり”をしたのがとっても楽しかったYちゃん。テーブル拭きや洗い物など、お手伝いもやる気いっぱい張りきっていたね。今でもお家で、嬉しそうにお話をするそうです。その笑顔が意欲と自信に大きく育つように、たくさんの経験を味わっていこうね！

楽しかった！『ライトハウスまつり』

10月29日（日）の『ライトハウスまつり』。当日は残念ながら雨でしたが、たくさんの方に来ていただきました。あいあい教室は、恒例の「焼きそば屋」を、保護者の皆さんと職員で行いました。好評の中、見事なチームワークで264食を完売！お手伝いいただいた保護者の皆さん、本当にありがとうございました！



焼きそばを焼くお父さん！

10月

『あいあい療育風景』

【いもほり&スイートポテトのクッキング】

テラスのプランターで育てたさつまいも。水・木・金曜日のお友だちは、“いもほり”と“クッキング”をしました。見えない・見えにくい子どもたちにとって、普段食べている物が「どんなふうに作られていくのか…」という工程はとてもわかりにくいものです。また、さつまいもの葉っぱやおいもを触ったり、力いっぱい引っ張る経験もできます。クッキングでは、一人一人ができあがるまでの工程をゆっくり体験できるように取り組みます。自分たちで作ったスイートポテト。普段は苦手…という子どもたちも、おいしそうに食べていましたよ！



おいもを掘るぞ！



もう、ないかな？



おいしくな～れ！

【親子で遠足に行ったよ！】

10月の後半は、グループ遠足！初めてのお弁当やバス…。いろんな“初めて”のドキドキを経験したグループ遠足。どんぐりや松ぼっくりを拾ったり、散策を楽しんだ「御室仁和寺」。お賽銭を入れてお参りした「下鴨神社」。雨で遠足に行けなかった日は、ライトハウス館内探険！いろいろな体験や交流ができましたね。



仁和寺でお参り



下鴨神社の‘みたらし池’

* 年長児 お父さんからのメッセージ

*

その4 E さんのおとうさん

あいあい教室の先生方・お友だちの皆様、娘がお世話になっております。Eがあいあい教室に通い始めて半年が経ちました。残念ながら私自身は直接あいあい教室に伺う機会がまだないのですが、楽しそうな様子は、Eよりいつも伝え聞いております。おうはんていけいせい黄斑低形成があり視力が低く、集団生活の中ではとまどうことや苦労することが多いと思います。そんな中あいあい教室での活動は、目の状態のみならず気持ちを理解してくださる先生方や仲間に囲まれて心が休まる場所なのだと感じております。また、保育園の訪問を含め、あいあい教室内にとどまらず環境調整や心のケアをしていただくことが成長期の子どもには特に大切であることを私自身も学びました。就学に向けても、色々と相談にのっていただき、前向きに進めていけそうので、家族皆で感謝しております。

娘があいあい教室で培った経験や自信を持って、豊かな人生を送れるようこれからも応援したいと思います。



その5 H さんのおとうさん

Hは、生まれつき両眼角膜混濁及び重度の感音性難聴です。かくまくこんだくそんなHを0歳の時から受け入れて下さったあいあい教室。

「お父さん聞いて下さい。Hちゃん、こんなことができるようになったんです

よ」と、お会いする度に嬉しそうに話して下さる先生。私が甘やかし過ぎるのか、猛烈にわがままで、我が道を行くHですので、先生方には日々手を焼かせてしまっているのは見ていなくてもわかるのですが、そんなことをおくびにもださず、Hの少しでも良かったところをピックアップして教えて下さる先生方には、感謝以外の言葉が思いつきません。

『お父さんと遊ぼう会』の行事、最初の年ははじまりから終わりまで、ずっと泣いて抱っこされているだけでしたが、毎年参加させてもらうにつれ、泣かなくなり、教室の中の好きな場所へ引っ張って行ってくれたり、成長を感じます。あいあい教室でのHの日常を、画像と共に教えていただけるのも、仕事で平日伺う機会のない私には嬉しかったです。

そんなHももうじき卒園、あっという間に感じます。色々お世話になり、本当にありがとうございました。これからも、親子共々よろしく願います。

その6 Cさんのおとうさん

「バチンッ」

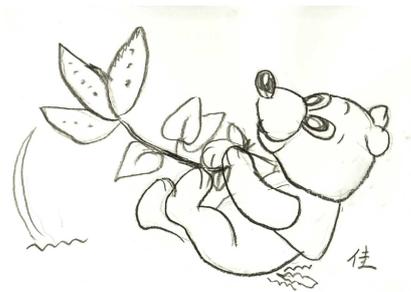
Cをひっぱたいてしまった…

こんなことがたまにある。その時には猛省する。

何度言っても分からず、いや分かっているのに言うことをきかない。最近のCだ。そんな時に思い出すことは、生まれてすぐにCの先天的な脳への障がいがあったこと。「歩けないかもしれません。しゃべれないかもしれません。盲目になるかもしれません。18歳まで生きられないかもしれません」そう医者から言われた。妻と二人、なんでCがと絶望した。ある日、妻がメールで「Cは選ばれたんだね」と送ってきた。とんでもない表現だけど、覚悟というか決心がついた。それならまんまの『C』と生きていくと。何も出来なくても、CはCだと。

今のCは、歩き、遅いけど走り、会話してコミュニケーションをとれるようになった。それが当たり前とってしまい、手を出してしまう。言うことをきかない、ガムを飲み込む、おねしょは毎日する。出来ないかもしれないということがたくさんできている。それ自体がすごいことなんだと。周りの方たちの応援があるおかげで、『C』の可能性がどんどん広がっている。

これからは、特にCの個性を尊重するべきだと思うところだ。



その7 Jさんのおとうさん

Jの父です。早いもので、Jも来年から小学生です。ちゃんとやっていけるのか心配な気持ちもありますが、どんな小学生になるのかなと期待に胸を膨らませています。

Jは、出生時、特に問題もなく、普通の子と変わらない元気な女の子だと思っていました。しかし、大きくなるにつれ、周りの子より発達面での遅れが目立ってきて気になっていた時に目の病気が分かり、その後てんかんも発症し、今に至ります。

そんなJですが、僕はJの将来に対し不安を感じたことは一度もありません。ほんの少し個性的なだけ。ただそれだけで、笑ったり、泣いたり、怒ったりしながらも成長していく、Jを見守っていただけです。

今まで、Jはいろいろな人に支えてもらって、マイペースながらもたくさんの成長を見せてくれました。あいあい教室に通うようになって、Jは本当に驚く程に成長したと思います。先生方の丁寧な関わりのおかげで、それまで出来なかったことがどんどん出来るようになりました。通っている保育所とも連携をとっていただいて、3年間、楽しく過ごすことが出来ました。また、妻もあいあい教室でいろいろなお母さん方から、たくさんの情報をもらったり、元気をもらったりしていたようで、なくてはならない場所だったようです。そして、僕も『お父さんと遊ぼうの会』で、特技(?)の料理を披露させてもらったり、お父さん会で誕生日を祝ってもらったり、『おもちゃ作りの会』ではペンキ塗りなどの日曜大工をしたり、たくさんのイベントに参加させてもらっていい経験が出来ました。

家族全員で楽しませてもらって、いろいろな経験をさせてくださったあいあい教室に感謝しています。本当にありがとうございました。



★★あとかき★★

1年振りのUSJは、人・人・人…。晴れてるから？休みの日だから？人気があるから？でも、なぜこんな所で知り合いに3人も会うのだろうか…。しかも、そのうち1名は、あいあいのT先生！世間は狭いものですね…。 古川 ちづる